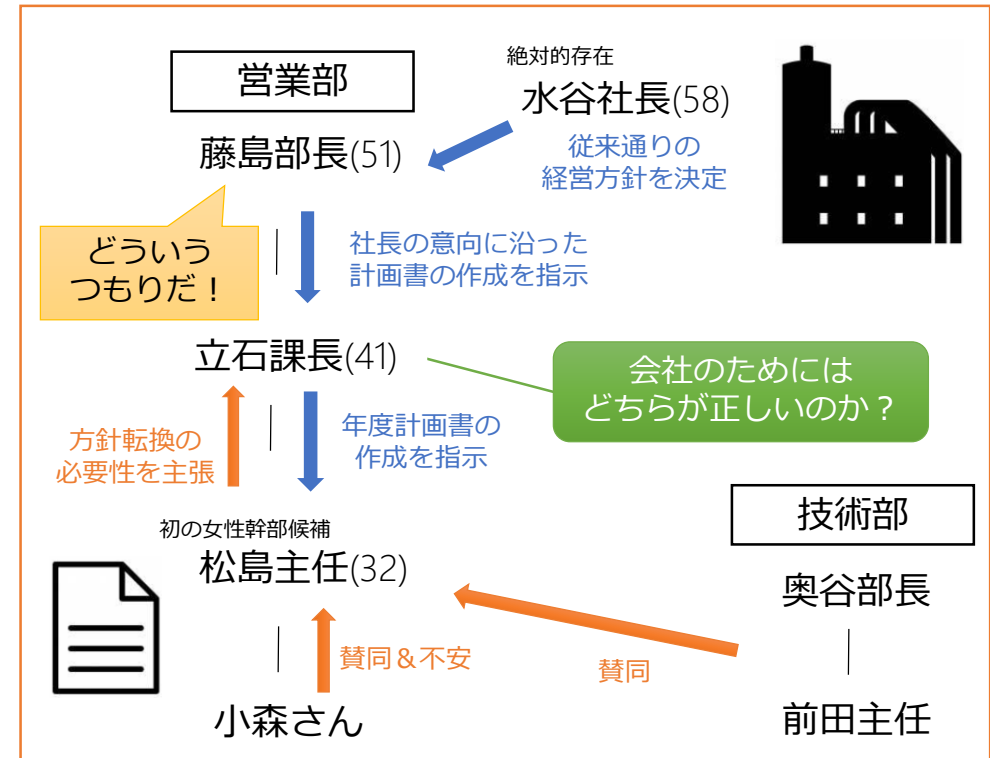




あらすじ 確かな技術力が評判の水谷製作所で堅実な営業ノルマを達成してきた立石課長。来年度の年度計画書の作成を、女性初の幹部候補として期待される松島主任に依頼しました。立石課長は来年度の方角性や具体的な数値まで伝えていましたが、松島主任から出てきた計画書は、現在の会社の方角を真逆へ転換すべきとするものでした。社長の意向に沿った計画書に修正するよう指示する藤島部長。会社のためと信じ自分の意思を曲げない松島主任。2人の言い分もそれぞれ分かりつつ、落としどころに悩む立石課長。三者三様の思いが向かう先は——

相関図（水谷製作所）



ポイント **組織のために良いと信じていることと上司の指示が異なるとき**、それをどう受け止めて行動すればよいのでしょうか？また、その間に立たされる中間管理職は**組織統制と現場の意見とのバランス**をどのようにとればよいのでしょうか？経営層・中間管理職・現場など様々な立場に立ったつもりで考えてみましょう。